

うわじま 牛鬼 うしおに

市立宇和島病院ホームページ
<https://www.uwajima-mh.jp>

市立宇和島病院の理念

患者さま中心の医療を基本として

- 一、信頼される病院
- 一、思いやりのある病院
- 一、やすらぎのある病院
- 一、進化しつづける病院
- 一、地域になくてはならない病院をつくります。



患者さまの権利

1. 良質で適切な医療を平等に受けることができます。
2. 自分の状態や医療行為について十分理解できるまで説明を受けることができます。
3. 医療者から十分理解できるまで説明を受けた上で、自由意志に基づき医療行為を選択あるいは断ることができます。
4. 主治医より受けた診断、治療方針について他の専門家に意見を求めたい場合は、セカンドオピニオンを利用することができます。
5. 自分の医療に関する記録などの情報について、開示を求めることができます。
6. 個人情報及びプライバシーは保護され、いかなる状況においても人間としての尊厳が守られます。
7. 患者さまの診療・治療について当院の教育・研究にご協力をお願いする場合がありますが、これを断ることができます。
8. 病院に対し種々の提言をすることができます。

市立宇和島病院の基本方針

1. いつでも、どんな病気にも、高度医療を提供する病院をめざします。
2. 患者さまの権利を尊重し、愛情と対話をもってあたたかい医療を提供する病院をめざします。
3. 快適な医療環境をととのえ、明るくうらおいのある病院をめざします。
4. 高い技術を持ち、人間性豊かな医療人の育成につとめる病院をめざします。
5. 医療・保健・福祉との連携を深め、地域で完結する医療に貢献する病院をめざします。



病院事業管理者

市川 幹郎



令和2年の年頭にあたり謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素は病院並びに介護老人保健施設の運営にご理解を頂きありがとうございます。

さて、今年は公立病院にとって節目の年になると思います。国は公立、準公立病院を機能別に分類し、これまでそれぞれの病院の方針で取り組んできた医療を、今後は各病院が特性を生かし、病院間で協力して、地域で完結する医療を行う事を求めています。そのために、病院の統合、廃止も含め現在各地域で行われている地域医療調整会議で検討し、その結果を今年中に報告する事が求められています。

今後ますます少子高齢化が進む地方で不採算医療、地域医療を担っている公立病院にとっては厳しい課題です。高齢者の増加に伴い疾病者も増加するとともに公立病院の果たすべき役割は益々重要となる中で「病院は残すべきだ」ではなく、「どうすれば残れるか」が問われていると思います。そのためには全ての人々が事態を理解し行動する必要があります。

今後とも何とぞご理解、ご指導をお願い申し上げます。

市立宇和島病院 院長

梶原 伸介



明けましておめでとうございます。

令和元年も大過なく過ごせたと思います。病院としても職員全員の頑張り、住民の皆様の信頼に応える診療実績を残せたのではないかと思います。昨年は循環器の造影検査装置を最新のものに改め、今後の診療に大いなる寄与をされると思われます。当院も新病院になり10年あまりが過ぎ、色々な診療機器の更新時期となってまいりました。当院の地域での役割、理念であります、進化し続ける病院、を実現するため必要な予算を計上し、常に一歩ずつ前進していくつもりです。また今年には1910年に病院が開設されて以来、110年となります。100周年の式典を施行したのがついこの間のように思われますが、時間は確実に進んでいます。

諸先輩方が苦勞して築き、発展させてきた当病院をさらに発展、進歩させるため、地域の病院、診療所と連携を密にして、四国西南地域の救急を含めた急性期、高度急性期医療を確実に展開できるよう、きさいやネットなどを活用し、地域医療支援病院の認定を得られるよう努力を行ってきた結果、本年4月1日付けで、承認を受けることとなりました。

今後も当院の地域での役割を自覚し、更なる向上を目指して頑張りたいと思いますのでご支援、よろしく願い致します。

地域医療支援病院の承認について

医事課医事係

当院は、令和2年4月1日付で、愛媛県より地域医療支援病院として承認いただくこととなりました。愛媛県内では、喜多医師会病院、松山赤十字病院、愛媛県立中央病院に次ぎ、4番目の承認になります。地域の医療機関等と積極的に連携していることや救急患者を多く受け入れしていることが評価されたことと理解しております。

これまでは、一つの医療機関で治療を完結させる「病院完結型医療」が中心でしたが、患者の高齢化に伴い、治療だけでなく予防、介護又は在宅医療等も重要になってきたことや医療技術が高度・細分化されたことにより、一つの病院だけでなく、地域の医療機関がそれぞれ専門とする分野を担当し、地域全体で治し、支える「地域完結型医療」に移行してきています。そこで、当院も平成29年度より、「地域完結型医療」の中心的役割を担う地域医療支援病院の承認を目指してきました。

これからも、地域の医療機関等と協力し、地域医療を守っていかねばなりません。当院は、紹介患者や救急患者を中心とした診療を担うため、市民の皆さまには、まず「かかりつけ医」を受診し、当院の受診が必要な場合は紹介状をお持ちのうえ、受診していただきますようお願いいたします。

1. 地域の医療機関等との役割分担を推進するために行った取り組みの一部

- (1) かかりつけ医受診を推進するため「かかりつけ医紹介窓口」を設置
- (2) 紹介患者を優遇するため、初診受付に「紹介患者様専用窓口」を設置
- (3) 紹介患者を優遇するため、診察の順番を変更
- (4) 地域の先生方から患者を紹介いただきやすい病院にするためのアンケートを実施



2. 地域医療支援病院として課せられる役割

- (1) 精密検査、入院又は手術が必要な紹介患者や救急患者を中心に医療を提供すること
- (2) 当院の病床及び医療機器を地域の医療機関と共同利用すること
- (3) 地域の医療従事者に対し研修を実施すること
- (4) 地域医療を確保するための委員会を開催すること

薬(ヤク)立つ話

薬局



当院から発行される“おくすりのしおり”や保険調剤薬局から渡される“お薬情報”にQRコードが印刷されていませんか？これは、「電子お薬手帳」に服用している薬の情報を取り込むための情報です。

紙のお薬手帳は手軽ではあるものの、日を重ねていくうちにかさばってきますが「電子お薬手帳」はスマートフォンさえあれば、ご自分の服用しているお薬の情報が蓄積されていき、過去に何の薬を飲んでいたか分かるため、病院や保険調剤薬局にとっても重要な情報となります。

スマートフォンをお持ちの方は、「電子お薬手帳」のアプリをインストールして、活用してみてください。

また、入院前に服用しているお薬の情報をより詳しく医師に伝えるためにも、入院時は、ぜひ“お薬手帳”だけではなく、“おくすりのしおり”も一緒にご持参ください。

シリーズ | 看護部だより

看護部 手術室看護主任 木下 恵太

当院では、毎年20人前後の新人看護師を採用しております。私は、看護部教育委員会の新人育成担当として新人育成に携わっています。当院の新人看護師の教育は、昨年度までプリセプターシップ（3～5年経験のある先輩看護師によるマンツーマン指導）を取り入れていました。しかし、24時間稼働する病院では、夜勤がつきもので、3交代シフトにより2人の勤務は“バラバラ”、新人看護師は指導者が居なくなって“ハラハラ”となり育成の妨げになっていました。

そこで看護部で考えた教育システムが、新人を宇和島の特産である真珠に喩えたPNSS（Pearl Nurse Support System）です。プリセプターに加え、エルダー（新人の年齢に近く、主に精神面を担当）とメンター（知識と技術を持ったベテランで、主に実技面を担当）と称した全スタッフが教育支援に関わります。新人（Pearl Nurse）が母貝の中で幾重にも大切に育てられ、どんなシチュエーションにもマッチする上品で輝きのある看護師に育つように、教育支援（Support）を続けたいと思います。



適正受診に ご理解と ご協力を!!

～ 宇和島の「救急医療」を守るため～

コンビニ受診はやめましょう

コンビニ受診とは、一般的に外来診療をしていない休日や夜間に緊急性のない患者さまが病院の救急外来を自己都合で受診する行為を指します。

コンビニ受診が増えると・・・

- ①救急外来が混み合い、命にかかわるような重篤な患者さまに対して、対応が遅れてしまうことがあります。
- ②休日や夜間の救急医療体制は、限られた医療スタッフで運営しているため、医療スタッフの負担が大きくなります。

※救急医療体制を維持するためには、医療スタッフの負担軽減も必要です。

平日の診療時間内（8時30分～12時）は、医療スタッフが十分揃っていますので、診療時間内に受診しましょう。

【休日の昼間の受診は】

比較的軽症の方は、休日当番の医療機関で受診しましょう。
※休日当番医は、広報うわじまなどで確認できます。

【火曜日・木曜日の夜間の受診は】

火曜日…宇和島徳洲会病院
木曜日…JCHO宇和島病院

かかりつけ医を持ちましょう

病歴や普段の健康状態を把握してくれる「かかりつけ医」がいると安心です。信頼できる身近な医師を見つけ、気になることがあったら、まずはかかりつけ医に相談しましょう。

健康診断や検診で、病気の予防や早期発見に努めましょう！

生活習慣病の早期発見だけでなく、予防にも繋がります。
定期的に健康診断を受けましょう。

お知らせ

難病のつどい ～講演会 & コンサート～

日時 令和2年2月29日(土) 13:00～15:00 (12:30開場)
会場 道の駅 みなとオアシスうわじま きさいや広場 市民ギャラリー
入場料 無料・事前申込み不要
問い合わせ先 市立宇和島病院 医事課地域連携室 Tel. 電話0895-25-1111 内線22022



シリーズ 各科紹介 | MEセンター

MEセンター 技師長 久保 章

MEセンターは、臨床工学技士の集まりです。
 坂尾心臓血管外科科長兼MEセンター長のもと、7名の技士と2名の事務員で業務にあたっています。
 臨床工学技士とは、医療と工学の知識を持ち医療機器を安全に操作・点検を行う専門職です。
 病院には色々な医療機器があり、主に生命維持管理装置（人工呼吸器、人工心肺装置、血液透析機器など）と呼ばれる重要な機器を扱っており、医師や看護師と連携しながらICU、手術室、透析室、心臓カテーテル室などで業務にあたっています。
 手術支援ロボット（ダヴィンチ）など新しい医療機器にも対応する為、知識の習得に励んでいます。



上段左から青木技士、和氣技士、兵頭技士、立花事務員、柳村事務員
 下段左から高瀬技士、久保技師長、坂尾医師、武下技士、新城技士

からだが喜ぶレシピ

ぶりの甘酢炒め



- ◎材料（1人分）
- ぶり……………60g
 - 薄口醤油 ……2.5g
 - こしょう……0.01g
 - 片栗粉 ……3g
 - 玉ねぎ……60g
 - ピーマン……15g
 - 人参……………15g
 - ケチャップ ……7.5g
 - 酒 ……7.5g
 - 濃口醤油 ……2.5g
 - 砂糖 ……1.5g
 - 酢 ……2.5g
 - 水……………30g
 - 油 ……1g
 - ごま油 ……1g

青魚に含まれるn-3系多価不飽和脂肪酸は動脈硬化を防ぐので積極的に摂りたいですね。豚肉の代わりにぶりをつかって甘辛いケチャップあんをからめた酢豚風の炒め物です。家にある基礎調味料だけでおいしい魚料理が簡単に作れます。

【1人分の栄養量】

エネルギー232kcal、たんぱく質14.1g、塩分1.2g

- ①ぶりは1口大に切り、醤油、こしょうで下味をつける。
- ②玉ねぎはくし切り、ピーマンは一口大、人参は短冊切りにする。
- ③★を混ぜ合わせておく。
- ④①に片栗粉をまぶし、油を熱したフライパンで両面にこんがり焼き色をつけて取り出す。
- ⑤同じフライパンで②の野菜を炒める。③を加え、煮立ったら④を入れ強火にし、とろみがつくまで煮る。
- ⑥仕上げにごま油を加える。

2020年2・3月糖尿病教室予定表

日程	医療スタッフの講義	担当部署	演 題	講 師
2月7日(金)	見直してみませんか？あなたの検査	臨床検査科	糖尿病のことを知ろう	研修医
2月14日(金)	糖尿病に薬（ヤク）立つ話	薬 局	糖尿病と感染症	内科山口朋孝医師
2月28日(金)	糖尿病食は健康食	食 養 科	糖尿病の第六の合併症～歯周病～	歯科口腔外科西川雄哉医師
3月6日(金)	合併症が出てしまった時の食事	食 養 科	1型糖尿病と2型糖尿病	竹内信人薬剤師
3月13日(金)	共に学ぼう、糖尿病	看 護 部	糖尿病を治療しよう	研修医
3月27日(金)	お散歩から始めましょう	リハビリ	知っておきたい動脈硬化と検査	久保田典夫臨床検査技師

■時間：午後2時から3時まで

■場所：北棟（2階）講堂

*講義内容は変更になることがあります。

*血糖値測定（無料）は毎回行います。

（午後1時30分頃から2時まで）

▼詳しくは食養科までお問い合わせください。

問い合わせ先

0895-25-1111(内線20010)
 市立宇和島病院 食養科

【糖尿病患者会（パール会）】

開催時間：午後1時35分から1時50分まで

2月28日の担当：看護部

3月27日の担当：臨床検査科

糖尿病療養指導士のスタッフが担当いたします。

発行／市立宇和島病院広報委員会

住所／〒798-8510 宇和島市御殿町1番1号

TEL／0895-25-1111 FAX／0895-25-5334